



▼ 7月13日

交流の輪を広げよう



会員間や地域の人との交流を深めてもらおうと、まさきファミリー・サポート・センターは、松前町総合福祉センターで「ふれあい交流会」を開催しました。

交流会では、朗読ボランティアとの交流やバルーンアート、魚釣りなどのお店巡りが行われ、親子で楽しい時間を過ごしました。また、「私、あなたのよいところ」を探すコーナーでは「育児に協力的なパパ、ありがとう」など、多くの温かな言葉がつづられていました。

▼ 7月5日

短冊に願いを込めて



7日の七夕に先立ち、松前保育所で七夕集会が行われました。園内は、色とりどりの七夕飾りと園児たちが書いた短冊がいっぱいです。

集会では「ケーキ屋さんになりたい」「トマトが食べられるようになりたい」など、園児たちはそれぞれの願いを発表しました。その後、彦星と織姫の話の聞いたり、七夕飾りの下でゲームをしたりして、楽しい時間を過ごしていました。

▼ 6月25日

国道 56 号沿いの花壇を満開に



松前校区老人クラブ（重川源会長）は、国道 56 号沿いの花壇に花を植えました。

同クラブは、毎年 7 回程度花壇の手入れを行っていて、今年で 17 年目。会員約 80 人が集まって、ポチュラカ 1,200 株を植えていきました。「元気な間はこの活動を続けていきたい」と話す会員たちの手によって、今年も、花壇は色とりどりの花が咲き誇っています。

▼ 6月19日

地震に備えて山陽物産が寄付



山陽物産㈱（武内英治代表）は、公益財団法人愛媛銀行ふるさと振興基金よりふるさと振興賞の受賞を受け、その賞金の一部と、歯ブラシや石けんなどの災害備蓄商品 500 セットを寄付しました。

「少しでも松前の人に何か役立つことができればと思っております」と話す武内代表に対し、白石町長は「いざという時のために、未来のために、積み立てていきたい」と話していました。

▼ 7月18日

海辺の生き物、見つけたよ



小さな子どもたちのための自然観察会「野々子くらぶ」は、塩屋海岸で開かれました。本年度 2 回目となる今回は、海辺の生き物を親子で探しました。

子どもたちは、海藻やフナ虫などを見つけると、興味深そうに手に取ってみたり、後を追いかけて行ったりと、みんな夢中。暑い夏の日差しの下で、子どもたちは思い切り自然と親しみ、楽しんでいました。

▼ 7月11日

待ちに待ったプール開き



梅雨が明けて暑い日が続く中、白鶴保育所でプール開きが行われました。

園児たちは、準備体操を行った後、年長児がテープカットを行って、いよいよ待ちに待ったプールへ。水鉄砲で水をかけ合ったり、ワニ歩きやしぶきを上げて泳いだりして、みんな大はしゃぎ。暑い夏の 1 日を、冷たい水の中でめいっぱい楽しんでいました。

▼ 6月27日

大阪で松前と特産品を PR



愛媛県の県産品などを他県の人にも知ってもらおうと、大阪府のダイキなんば店で「愛媛のふるさと愛味ものフェア」が開催されました。

フェアには県内 6 市町が参加。本町からも 5 事業者が出展し、松前町と特産品を PR しました。ひときわ目立つ本町のブースには、多くの買い物客が足を止め、珍味、ちりめん、げんこつ飴やはだか麦など、松前自慢の味を買って求めていました。

▼ 6月21日

農業に家族みんなが意欲を持って



浮穴佳温さん、美雪さん夫婦＝東古泉＝は、家族経営協定を結びました。本協定は、家族みんなが意欲とやりがいを持って農業に参画できるよう、就業環境を家族で話し合い、取り決めるものです。今回で松前町の家族経営協定農家は 13 組となりました。

調印式では、佳温さんが「お互いを尊重しながら一人一人の役割分担と責任を明確にし、松前農業の発展のために尽くしたい」と決意を新たにしていました。